

# 南郷里小学校からの報告

活動団体名： 南郷里小学校理科クラブ

活動人数： 31人（教員2名）

取組時間：クラブの時間

**調査内容** 1回目：5月16日（月）十一川支流（南田附東）晴れ 2回目：5月30日（月）十一川支流（郵便局付近）曇り  
3回目：6月21日（火）十一川支流（今川町農業用水）晴れ

水生生物調査隊は、理科や自然への興味・関心のある4年生以上の児童31名が、理科クラブに所属し、年間12回のクラブ活動の取組の中で、5月と6月に3回調査を行いました。調査場所は、学校の校地・運動場の北側にある十一川の支流、東側の支流及び本流、南側の今川町農業用水の3か所で行いました。

南郷里小学区の地域を流れる十一川の支流は、比較的浅く流れも緩い川なので、サンダル等で川に入り、タモやざる、バット等を使って、砂利や石、藻などに隠れている小さな水生生物を見つけ、種類ごとに分類しながら調査をしました。指標生物の他にも、ドンコやザリガニ、小魚や小エビなどもたくさん生息していて、豊かな自然が残っていると感じました。子どもたちは、「先生！これ何？」と生き物を見せにきたり、「大きな魚取れた！」「このすばしっこい小さいやつ何なの？」と興味深く話したりしていました。



## 調査員の感想

- ・ヨコエビがたくさんいて、あまりきれいな川ではないということが分かりました。
- ・プラナリアがいたことがびっくりしました。調べると、きれいな川にすんでいるそうです。切っても4日ほどで、新しい体が再生されるそうです。
- ・十一川は、少し汚れている川だと分かったけど、きれいな川にすんでいる生き物もいたので、少し安心しました。

## 捕まえた生き物たち

ヒラタカゲロウ、フタスジモンカゲロウ、ガガンボ、サワガニ、カゲロウ、シジミ、カワニナ、サホコカゲロウ、ヒル、ミズムシ、アメリカザリガニ、ヨコエビ、スジエビ、ドンコ、ハグロトンボ（ヤゴ）、シオカラトンボ（ヤゴ）、コオイムシ、カワムツ（稚魚）

## 調査のまとめ

パックテストの結果や指標生物の種類から、汚れている川に生息する生き物が大半を占めていることが分かり、子どもたちは少し残念な気持ちになる反面、自分たちが住む地域の川を美しくしたいという気持ちを高めることができました。

指標生物からは、ヒラタカゲロウ、ガガンボ、サワガニなど、「Iきれい」に分類される生き物がいましたが、「IIIよごれている」に分類されるミズムシやヒルが大量にいたことから、あまりきれいでないことも分かりました。毎年、同じ場所で同じ生き物が見つかることから、自然環境は維持されていると考えられます。しかし、きれいにしていくためには何ができるかを身近なところから考えていきたいです。



# 活動の様子



【南田附町での調査】



【郵便局付近での調査】



【今川町での調査】

【アメリカザリガニ】



【カワムツ (今川町)】



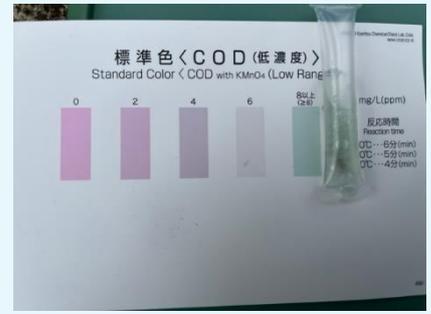
【パックテスト(南田附町)】



【パックテスト (郵便局付近)】



【パックテスト (今川町)】



【カクツツトビケラ】



【サワガニの親子】



【ヒラタカゲロウ】

